

2018-2019 ガバナー月信

GOVERNOR'S 1 MONTHLY LETTER



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

国際ロータリー第2510地区 2018～2019年度 ガバナー 小 山 司

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2018-2019年度国際ロータリーのテーマ
「インスピレーションになろう」



国際ロータリー第2510地区
2018-2019年度地区目標

——— 持続可能な絶え間なき変革のスタート ———

1. 組織を活性化しよう

- (1) 会員の維持、増加の推進
- (2) 女性会員の増強
- (3) クラブ役員、地区委員への若手登用の推進

2. ロータリーの認識・理解を深めよう

- (1) 会員研修の充実・強化
- (2) クラブ相互間、グループ相互間等のコミュニケーションの活発化
- (3) ガバナー月信の内容充実、電子化の推進

3. 地域社会との関わり合いを深めよう

- (1) 人道的奉仕活動の推進、ロータリー財団補助金の活用
- (2) 青少年活動の支援・強化、地域社会との連携
- (3) 広聴活動の推進

CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●米山奨学生のご紹介	15
●第47回 ロータリー研究会	2	●ハイライトよねやま	16
●ロータリー財団地域セミナーに出席して	4	●ロータリーコーディネーターNEWS	17
●日本ロータリー学会総会参加記	5	●ロータリーのメリット	18
●ガバナーノミニー決定宣言	6	●地区カレンダー(1月・2月)	19
●ガバナー公式訪問報告	7	●出席率・会員数	20
●新ロータリークラブ結成のお知らせ	13	●文庫通信	21
●新会員のご紹介/米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付	14		



今後のロータリーに期待すること その2 —ロータリーを真に楽しむ心のスイッチを入れよう—

国際ロータリー第2510地区

2018—2019年度ガバナー **小山 司**
(札幌RC)

平成31年の新春のお慶びを申し上げます。昨年、当地区69クラブの公式訪問に際しましては、各クラブの会員の皆様から心のこもった歓迎をいただきました。また、クラブ運営の現状と課題について直接お話を聞く機会が得られ、今後の地区運営を考える上で貴重な学びとなりました。心から感謝申し上げます。年度の締めくくりとなる下期におきましても、皆様の一層のご尽力をお願いしますとともに、実り多い成果を上げられますようご期待申し上げます。

前号から、私の公式訪問の経験から得られた、今後のロータリーの活性化に資すると期待される諸活動について、私見をまとめさせていただいています。今月号では、ロータリーの理解を深め、ひいてはロータリーを真に楽しむ心のスイッチを入れる方策として期待されるMy Rotaryとロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)を取り上げることとします。

2018年はポール・ハリスと米山梅吉の生誕150年にあたり、また2020年には日本のロータリー創立100周年を迎えることから、折に触れてロータリーの歴史が語られる機会が多くなりました。ロータリー創立後、100年を経て、その間に起こった経済、社会構造、産業構造などの変化は著しく、ロータリー活動のあらゆる面で世代間の認識や価値観に大きなギャップが生じています。その要因である基本的な問題点を分析し、十分に話し合い、ロータリーの理解を深めない限り、持続可能なロータリーの発展は望めません。

従来、ロータリーの理解を深めるRI研修プログラムとして、PETS、地区チーム研修セミナー、地区研修・協議会などがありますが、特定のロータリーの役職にある人に焦点を合わせたもので、具体的な活動に関するプログラムです。本号で紹介するMy RotaryやRLIは一般的な会員あるいは指導者教育を提供するものと言えます。ロータリーをよく知り、正しい理解を深める有力なツールとして、幅広い会員の利用と参加が期待されてきました。

My Rotaryは周知の通り、ロータリーの情報オンラインシステムで、ご登録いただくことでロータリーの活動や地区・クラブ運営に必要な情報やデータを随時入手できます。また、クラブ会長、幹事、事務局職員の方にとっては、「ロータリー・クラブセントラル」(寄付目標、会員増強目標の設定)、会員情報(入退会更新)、半期報告書、人頭分担金の請求書発行等、地区、クラブ運営にとって不可欠の便利なシステムとなっています。ロータリー関連の情報が満載されており、必要に応じて手元のパソコンから入手できますので、会

員の皆様に登録を強く推奨してきました。しかし、第2510地区の最新の登録状況は平均30%の登録率にとどまっています。内訳では、90%以上の登録率:4クラブ、70%以上:6クラブ、50%以上:11クラブ、30%以下:48クラブとなっています。高い登録率のクラブでは、一括登録などクラブ挙げでの取り組みが行われていることが確認されています。改めてMy Rotary登録の推進をお願い申し上げる次第です。

RLIは、ロータリーの組織や活動に関して、正しく、深い知識を持ち、高い指導能力のあるロータリアンを支援するための全世界の地区の連合体組織です。1992年にアメリカで始まり、2008年に日本に導入されました。現在では世界の75%の地区に採用され、日本でも34地区中21地区に採用されており、5地区が検討中です。当地区でもすでに採用が承認され、2019年6月8日のRLI開催に向け々と準備が進められています。私たちがロータリアンとして成長し、ロータリーを真に楽しむ心のスイッチを入れるためには、ロータリアンひとり一人がロータリーを本当に理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションや活動を活発にして、クラブの活性化につなげていく必要があります。その有力な手法の一つとして、RLIに是非ご注目ください。

研修セミナーへの参加は、クラブ会長により将来の指導者として成長する可能性や優れた素質を持ったロータリアンや希望者の中から個別に選ばれ、RLIの研修に参加します。RLIの研修は、従来の講義を聞くスタイルではなく、討論方法を活用して、参加者によるディスカッション方式で行われます。DL(ディスカッション・リーダー)が進行役になり、決められたテーマについて、各自の自発的な考え方や意見を引き出していきます。各テーマには正しい答えはありません。しかし、正しい問いかけで視野が広がります。テーマに対する参加者の発言によって、自分一人だけでは思いつくことがなかった新たな視点が提供され、自分自身の回答や方向性を見出すことになります。正に対話からの気づきは貴重な宝です。

「子曰く、これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」
よく知られている論語の一条です。ロータリーを知り、理解を深めることから始まり、ロータリーを真に楽しむ心のスイッチが入ることによって、豊かなロータリー・ライフの実現へとつながります。ロータリアンとしての成長の段階を示す一言とは言えないでしょうか。



第47回 ローターリー研究会

国際ロータリー第2510地区

ガバナーエレクト **福田 武男**

2018年11月18～21日、「第47回ロータリー研究会」(国際ロータリーゾーン1・2&3)が開催されました。今回は三木RI新理事(姫路RC)の所属するRI2680地区の神戸ポートピアホテルにて、2017～19年度の石黒慶一RI理事および2018～20年度の三木明RI理事のお二人が招集者となり、バリー・ラシンRI会長(バハマ)とマリオ・セザール・デ・カマルゴTRF(ロータリー財団)管理委員(ブラジル)をお迎えして開催することとなりました。初日は18日の「ロータリー財団地域セミナー」、19日は午前が「メジャードナー午餐会」、午後には「ガバナー会」、「GETS(ガバナーエレクトトレーニングセミナー)」、「GNTS(ガバナーノミニートレーニングセミナー)」、そしてRI会長ご夫妻TRF管理委員ご夫妻の歓迎晩餐会が開催されました。そして翌日20日のロータリー研究会には、開会式から始まり各種報告があり、午後からはバリー・ラシンRI会長の基調講演①「BE THE INSPIRATION」、そしてマリオTRF管理委員の基調講演②「世界で良いことをしよう」の2講演があり、その後全員参加の全体会議で2つのセッション～第1セッション「若い人々の参加」、第2セッション「職業奉仕と日本人ロータリアンの心」というテーマでそれ

ぞれ4名のモデレーターの発表があり、その夜は「希望晩餐会」でバリー・ラシンRI会長、マリオTRF管理委員を囲んで楽しい時間を過ごしました。21日(水)のロータリー研究会第2日には、前日に続き第3セッション「若者を守ろう・危機管理」、第4セッション「規定審議会に向けて」でそれぞれ4名のモデレーターの意見発表がありました。午後は、理化学研究所の井上愛一郎氏をお迎えし、「スーパーコンピューター・京と若い人々」と題しての記念講演があり、最後にバリー・ラシンRI会長、マリオTRF管理委員、RI理事、元RI理事が加わってのオープン・フォーラムにより今回のロータリー研究会のすべてが終了となりました。登録参加者は400名を超え、我が地区からは小山ガバナーをはじめとして10名のPG、福田エレクト、福井ノミニーなど15名の登録がありました。



研究会ではバリー・ラシン会長より参加者に対して、以下のようなご挨拶がありました。



親愛なる朋友ロータリアンの皆さま
ロータリー研究会にご出席の皆さまを謹んで歓迎申し上げます。

研究会は、ロータリーの活動成果を祝うとともに、めまぐるしく変わる世界に適応し、成長していく方法を検討する機会です。次年度だけでなく、その先も視野に入れて計画を立てる場となるのが研究会です。

私と皆さまの仕事は、究極的に同じです。それは、より良い世界を築くロータリーの活動を前進させることです。私たちは、割り当てられた仕事を可能な限り効果的かつ効率的にこなしながら、ロータリーの発展のためにベストを尽くします。責任ある活動と持続可能性を重視し、今日のロータリーの活動の影響が未来にも続いていくようにするための情報とスキルを、この研究会で学んでいただけることを願っております。ロータリーを通じれば、大きな変化を生み出すことができます。年度目標の設定と達成はもちろん重要ですが、それにもまして肝心なのは、次年度以降にも目を向けることです。今年度の達成が、次世代のロータリーにどのような影響をもたらしていくのかを考えなければなりません。自分のためだけでなく、ほかの人のために協力すれば、可能性はさらに広がります。

ロータリーのビジョン声明は次のように謳っています：「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。

創始者ポール・ハリスはかつて、次のように語りました。「ロータリーは平和な世界の縮図であり、各国がこれを模範とすれば平和に役立つでしょう」。私にとって、ロータリーは模範であるだけでなく、インスピレーションです。

「インスピレーションになろう」のテーマの下、皆さまのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

心を込めて。

2018～2019年度 国際ロータリー
会長 バリー・ラシン

ロータリー財団地域セミナーに出席して

次期地区ロータリー財団委員会
委員長 **熊澤隆樹**
(小樽RC)

2018年11月18日(日) 神戸ポートピアホテルにおいて、ロータリー研究会に先立ち財団セミナーがRI理事石黒・三木氏、マリオTRF管理委員、北管理委員の出席を得て開催された。

渡辺好政元RI理事(公財)ロータリー日本財団副理事長からはロータリーの日本財団の現状について、最新情報の講演があり、過去5年間の寄付総額が20億円を超えたこと、税制上の優遇措置について話された。

北TRF管理委員からは、年次基金寄付が2年連続で日本クラブが100%達成したこと、DDFの有効活用法について説明がなされた。慈善団体の格付けを行う機関から、11回目となる4つ星の最高評価を受け、財団の財務の健全性、透明性の姿勢が評価されたことも報告された。

そして、DDFの有効活用先として

1. ポリオ撲滅
2. 恒久基金への寄贈
3. 6つの重点分野への寄贈
4. 他地域プロジェクトへの寄贈
5. ロータリー平和センタープログラムへの寄贈
6. 2019-21年度地区補助金特別処置に20%を遣うことが出来るとあり、DDFの繰越金の20%を2年間で使用を認めるというもので、当地区での地域補助金の使用が可能となりそうである。

ポリオ撲滅の活動状況については第2ゾーン第2750地区の田中靖ポリオ委員長が自らのインドでの生ワクチン投与の映像を交えて報告された。

RI本部グローバル補助金日本担当責任者スティーブン・サンドストローム氏からは、流暢な日本語でグローバル補助金のポイントが話され、ロータアクトの奉仕プロジェクト・RYLA・青少年奉仕プログラム・太陽光パネルの設置等も例として挙げられた。

パネルディスカッションでは「日本のグローバル補助金の推進について～なぜグローバル補助金が使われないか～」のテーマで原實(D2770)、高橋茂樹

(D2750)、宮里唯子(D2660)、スティーブン・サンドストロームの各氏が様々な使用方法、そして問題点について話された。

その他、平和フェロップログラムについて、ホストエリヤコーディネーター水野功氏、大口寄付の現状についてアドバイザー野口英一氏、ロータリー財団の現状についてRIよりTRF管理委員のマルロ氏からそれぞれ講話があり、6時間という長丁場の一日が終わった。最後に石黒RI理事より寄付は社会貢献であるという言葉があり無事終了した。



日本ロータリー学友会総会参加記

第2510地区学友委員会

委員長 **菅原 秀二**

昨年の神戸に引き続き、2018年11月17日から18日にかけて、東京海洋大学で開催された2018-19年度日本ロータリー学友会総会に出席してきました。第2510地区からの出席者は私のほかに、国際奉仕・V T T 委員会副委員長の富岡豊氏、財団学友会副会長の菅原桂子さんに加え、現在は東京在住の財団学友会会長の鈴木抄織さんの4名で、全体で80名くらいの出席者でした。

2年連続で出席することになったのは、来年の2019-20年度総会が札幌開催の予定で、それに向けての準備のためでもありました。当地区の学友会会長の鈴木さんは、日本ロータリー学友会の幹事でもあり、幹事会でのお話合いの様子うかがっていたのですが、こちらからの意向とのすり合わせも必要だろうと感じていました。今回、日本ロータリー学友会の会長や顧問の方と直接話すことができたのは、とても有益でした。なお、写真は札幌の紹介をする菅原桂子副会長の様子です。

今年の内容ですが、1日目の総会は、事業報告や会計報告、会則の改訂などの議題があり、粛々と進行していき、札幌の紹介もこの中で行われました。その後の講演の最初は、東海大学講師で学友の和田健太氏による「アメリカ中間選挙の結果と今後の展望」と題するタイムリーなものでした。次に、国際開発センターに勤務されている学友の佐藤幸司氏が「パレスチナ教育支援の現場から」と題する講演を行いました。我々の知らない中東の状況についての臨場感あふれるお話で、とても感銘を受けました。総じて両方の講演とも非常に興味深く参考となりました。

その後、休憩をはさみテーブルディスカッションとなりました。2日目の主なプログラムも、ゾーン別のテーブ

ルディスカッションだったので、いろいろな方と話す機会が持て、各地の学友会が抱える問題についてみんなで考えたり、各地の学友会独自の活動について触発されました。このようなディスカッションの時間が多く確保されていたのが、この会の特徴であると昨年と同様、感じた次第です。

最後に、1日目の夜には、屋形船に乗り東京の夜景を海から見ながらの懇親会となりました。ここでも会長や顧問の方を始め、各地の学友とお話する機会が持てて有益でした。また、2日目のディスカッション終了後には、東京海洋大学の100周年記念館や明治丸記念館、そして明治丸への乗船と盛りだくさんの観覧を経て、解散となりました。写真は屋形船の様子と明治丸での記念撮影の写真です。

来年の札幌では、札幌らしいものをお見せしたいと思っておりますので、いろいろご意見などをお寄せいただくと嬉しく思います。また、来年度の開催にあたっては地区の役員の方や学友の方のご協力もいただければと思いますので、その際にはよろしくお願ひ致します。



ガバナーノミニー決定宣言

2021-2022年度国際ロータリー第2510地区ガバナーノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より大日向豊吉君（函館五稜郭RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第14条第2節 [14.020.ガバナー指名手続] に基づき、大日向豊吉君を2021-2022年度第2510地区ガバナーノミニーとすることを決定し、ここに宣言いたします。

国際ロータリー第2510地区

2018-2019年度ガバナー **小 山 司**
(札幌RC)

【2021-2022年度ガバナーノミニー】



会員名 おお ひ なた **大日向** とよ きち **豊吉** (函館五稜郭ロータリークラブ)

生年月日 1950年3月13日 (68歳)

職業分類 社会福祉施設
社会福祉法人函館愛育 特別養護老人ホームおおぞら 理事長兼施設長

学 歴 1995年9月 法政大学経済学部経済学科卒業

職業経歴 1968年 4月 尾崎窒化工業入社
1968年 8月 同社退職
1969年 4月 函館市消防本部奉職
1978年 11月 同本部退職
1979年 1月 社会福祉法人函館愛育 おおぞら保育園副園長拝命
1982年 4月 同園園長拝命
2005年 4月 特別養護老人ホームおおぞら施設長拝命
2006年 4月 社会福祉法人函館愛育 理事長兼施設長

【ロータリー歴】

1982年7月2日函館五稜郭ロータリークラブ入会
2012-2013年度 会長
2014-2015年度 第11グループガバナー補佐
2016-2017年度出席100% 35年表彰者

【その他】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者(4回)

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますので、ご了承ください。

栗沢ロータリークラブ

7/11水

7月11日(水)に小山司ガバナー、福井昭和ガバナー補佐、泉亭俊徳ガバナー補佐幹事をお迎えし、公式訪問が開催されました。

午前10時からの会長、会長エレクト、幹事との懇談、午前11時からはクラブ協議会にご出席いただきました。各委員長が活動計画をそれぞれ発表し、小山ガバナーから丁寧な講評があり、終了いたしました。

その後、午後12時10分からは例会が行われ、小山ガバナーよりポールハリスの生い立ちや足跡、2020年に日本ロータリーは100周年を迎え、それに伴い記念事業としてゴングを作成したこと、またその台座には地区の69クラブの名前が刻印されており、公式訪問の際には各クラブにご披露していることなどのお話がありました。また、ポリオ撲滅運動についての現況では、ポリオの発生件数はまだわずかにありますが、確実に減ってきておりポリオフリーの世界に近づきつつあるということでした。

最後に出席者全員で写真を撮り、公式訪問のひと時を楽しく終了することができました。会員一同心より感謝を申し上げます。



伊達ロータリークラブ

8/21四

小山司ガバナー、斎藤正史ガバナー補佐、鈴木高士補佐幹事をお迎えして8月21日ガバナー公式訪問が行われました。当日は、緊張の中、朝8時45分より伊達市菊谷市長を表敬訪問し、その後市内でもトップクラスの集客力を持つ道の駅にある伊達観光物産館をご案内しました。

会長・幹事懇談会では、大光会長より、今年度の会長方針や概要、現状を報告し、小山ガバナーより多くのご意見やご指摘を頂きました。

クラブ協議会では、理事・役員・委員長出席のもと各担当理事から各委員会の活動計画について説明し、小山ガバナーよりそれぞれの活動に対して懇切丁寧なご講評をいただきました。

例会では、小山ガバナーよりとても有意義な卓話を伺い、最後に大光会長の謝辞で終了しました。

小山ガバナーはじめ地区役員の皆様には、ご多忙中にもかかわらず、クラブ訪問を頂き、会員一同心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



小樽南ロータリークラブ

8/31金

8月31日は小山ガバナーの公式訪問日。午前10時から、ガバナーと会長の工藤、湊幹事との打ち合わせから、当日の公式行事が始まりました。工藤が考えているRCの様々な課題、それと同じ考えをお持ちになっていた小山ガバナーに、とても親近感をもちました。その後、11時より、小山ガバナーを囲んで、理事・役員及び各委員会の委員長との会合。これは各委員長の年度に亘る考えの発表機会。その後、通常例会で、ガバナーの卓話をいただき、全員で記念撮影。

慌ただしかった一日ですが、ガバナー公式訪問は、その年のクラブの新たな始まりでもあります。ご多忙中、時間をとっていただいた小山ガバナーには、小樽南ロータリークラブを代表して御礼申し上げます。



北広島ロータリークラブ 9/18日

平成30年9月18日(火)に小山ガバナー、齋藤ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

会長・幹事懇談会、クラブ協議会ではクラブの活動計画について継続事業及び新規事業の取り組み、会員増強についてなどの点について発表しました。

ガバナーからは北広島市の地域性、町の特徴などを伺われ、今後の活動の助言をいただきました。継続的な活動を前提とし複数年計画の中での活動をしていく事、会員増強にはまず楽しい例会にするなどアドバイスも頂きました。

懇談会では小山ガバナー、齋藤ガバナー補佐から今までの豊富な経験の中から色々なお話をいただき、会員全員が有意義な時間を過ごせ今後の活力となりました。

改めて会員の団結力を高め今後の活動に生かしていきたいと思っております。



滝川ロータリークラブ 10/11日

10月11日(木)、小山司ガバナー・石黒安雅ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問例会が開催されました。午前10時からの会長・幹事会及び午前11時からのクラブ協議会にそれぞれご参加くださり、クラブ協議会では、本年度の各委員長より今年度の当クラブスローガン「仲間を知り、地域を知り、クラブを楽しむ」に基づく委員会基本方針及び活動計画が発表されました。会場は終始楽しく和やかな雰囲気に入れ、小山ガバナーから、当クラブの積極的な活動及び活動方針に対する賞賛のお言葉を頂きました。12時30分からの例会においては、2020年は日本RC100周年であり、また今年には北海道命名150年という節目でもあるということで、RCと北海道のつながりについてお話をいただきました。

「ニューイングランドに発した人々の繋がりが、我々の北海道のRCにも関係があったことを皆様にご存知いただき、日本RC100周年という節目を迎えるにあたり、これまでの先人達に対する敬意と感謝を感じ、新たな一世紀のRC活動に発展させ、それを後世の次世代の若者たちに伝えていくという責務を感じながら、これからのRC活動の展開を皆様と共に一緒に考えていく節目にしていきたい。」と、大変貴重なお話を頂戴いたしました。

小山司ガバナーのご訪問に、会員一同心より御礼申し上げます。



苫小牧ロータリークラブ 10/26金

苫小牧ロータリークラブガバナー公式訪問は10月26日に小山ガバナーを清水ガバナー補佐と柳瀬会長がお迎えし、9:30より市長表敬訪問を行いました。この日は生憎市長が不在のため、佐々木副市長様をご対応頂き『IR誘致等を含めた地域発展』について意見交換をしたのち、北海道胆振東部地震の支援対策についても話し合いがされ、地域のロータリーとして積極的な支援協力をしていきたいとの意思を伝えました。

その後例会会場ホテルへ移動し、会長・幹事懇談会が行われ、柳瀬会長よりクラブの現状と活動方針等が説明されました。小山ガバナーは当クラブの会員増強の成果について触れられて、地域の発展とロータリーの活性化が合わさり、いいスパイラルになっていくことが理想的な形で、当クラブにはその良さがあるとお言葉を頂戴しました。

11:00より、第2回クラブ協議会が新入会員も出席のもと開催され、各委員長より今年度の活動方針が発表され、小山ガバナーより講評を頂き、有意義な協議会となりました。

12:30より例会を開催しました。小山ガバナーからロータリー誕生と北海道の開拓史について、歴史のエピソードを交えながらの卓話を頂き、そのスピリットを学ぶことができました。

また、日本のロータリー100年を記念して制作した「記念鐘」の紹介がされ、柳瀬会長が実際に点鐘を行い、とても重みのあるいい音色が会場に響き渡りました。最後に参加者全員で記念撮影を行い、公式訪問は終了となりました。



札幌清田ロータリークラブ 10/30火

平成30年10月30日(火)、小山司ガバナーと関堂勝幸ガバナー補佐をプレミアホテル-TSUBAKI-札幌にお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。会長・幹事会の冒頭で、清田地区に北海道胆振東部地震による、液状化がもたらした被害についてお見舞いの言葉を頂きました。さらに、全国と海外からお見舞い金が寄せられているので、必要なものがあれば地区へ申し出て欲しいとの温かいお言葉もありました。幸い会員に大きな被害はなかったため、赤十字の義援金への寄付や、将来の震災への備えに使われては、と提案申し上げました。クラブについては少人数クラブゆえに増強方法について活発な意見交換をすることができました。クラブアッセンブリーでは理事全員が一人ずつ、ガバナーと意見交換をすることができました。例会では、ロータリーの歴史についての卓話をいただき、ロータリーについての知識と理解を深めることができ、また、活動の道標をお示しいただき、一同にとって大変貴重な一日となりましたことをご報告申し上げます。



札幌東ロータリークラブ 11/8日

11月8日(木)ガバナー公式訪問クラブ協議会をRI第2510地区小山司ガバナー、RI第2510地区第5グループ 関堂勝幸ガバナー補佐をお迎えして開催致しました。

10時からの会長・幹事・会長エレクト懇談会では、山口会長より本年度創立60周年を迎える当クラブの現状、今年度の会長方針、①「ロータリーを楽しもう」②「ロータリーを学ぼう」③「ロータリーを実践しよう」について具体的な説明を行いました。

11時からのクラブ協議会では、各委員長より今年度の活動方針・活動計画を発表させて頂き、小山ガバナーからは他クラブの現状そして取組の事例を具体的に説明頂き、各委員長への大変為になるアドバイスを頂きました。特に会員増強に対するお話は参考になりました。

12時30分からの例会では、小山ガバナーの卓話は、広い視野でのロータリーの活動と地区の活用など大変参考になり会員一同有意義な時間を過ごす事ができました。

ご多忙の中、当クラブをご訪問いただき、心より感謝申し上げます。今後も健康に留意され、ご活躍されます事をお祈り申し上げ、公式訪問のお礼と報告とさせていただきます。誠にありがとうございました。



札幌西ロータリークラブ 11/13日

平成30年11月13日(火)、札幌プリンスホテル・国際館パミールにて、小山司ガバナー、中村和雄ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催しました。例会に先立ち、10時から行われた会長・幹事懇談会では、当クラブの現状について話し合い、今後の会員増強に関する示唆を得ることができました。11時からのアセンブリーでは、各委員長から上期の活動報告を行い、当クラブの様々な奉仕活動及び音楽活動等に関してご理解をいただきました。

例会の中では、「ロータリークラブ100周年の鐘」をご披露いただきました。この音色は、点鐘される方の心を映す?と云われているようで、記念に点鐘された徳田会長の音色は、とても清々しい余韻を残す音色でした。また、ロータリークラブの歴史や世代間交流の重要性、地区における指導者育成プログラム等、多くのご助言を頂戴しました。今後のクラブ運営に関して大変参考となる卓話となり、会員一同、大変有意義な時間を過ごせたことに心から感謝申し上げます。



苦小牧北ロータリークラブ 11/6(火)

11月6日(火)、小山司ガバナー、清水尚昭ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。午前10時から会長・幹事懇談会が行われ、当クラブより阿部会長、門脇幹事、また友廣エレクト同席のもと、クラブの現状、活動計画並びに活動経過を報告しました。クラブの奉仕事業であるRCC(苦小牧家庭生活カウンセリング協会)への支援、また先日開催した38回目を迎えた苦小牧北ロータリー杯争奪小学生サッカー大会について説明しました。サッカー大会に参加した小学生が成人になり、今ではサッカー協会の理事となり、当クラブ主催のサッカー大会の運営をクラブと共に行っていること、また地方紙にお願いし大会当日に試合会場で号外を発行していることについて説明しました。懇談会でガバナーより、衛星クラブ設立を検討することも今後のクラブの発展につながるとの助言を頂きました。11時よりクラブ協議会を開催しました。各委員長より活動計画と進捗状況等を発表し、小山ガバナーより講評を頂きました。12時30分より場所を移し、例会で小山ガバナーより、ロータリーの歴史や国際ロータリー、日本ロータリーの現状、地区の目標についての卓話を頂きました。卓話の中で日本ロータリーから贈られた「ロータリーの鐘」を阿部会長が点鐘し、美しい音色、音の響き、広がりをもメンバー一同で楽しむことができました。最後にガバナーを囲み記念写真を撮影し公式訪問を終了しました。



苦小牧東ロータリークラブ 11/15(木)

平成30年11月15日(木)に小山司ガバナー、清水尚昭ガバナー補佐の2名をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

朝10時から小山司ガバナー、清水尚昭ガバナー補佐をお迎えして会長・幹事懇談会、11時からクラブ協議会、12時半からは通常例会と、とても長いお時間をお付き合い願いました。

懇談会の中では2018～2019年度の年間予定、過去、現在、今後も継続していく事業に付きまして苦小牧東ロータリークラブのホームページ等でご説明致しました。

特に興味と関心を示されたのはクリスマスドロップ作戦と大学アイスホッケー交流戦苦小牧大会でした。

クラブ協議会ではとても素晴らしいクラブだと、ご講評頂きました。この27名と言う会員数で色々な支援、奉仕活動を長年継続してやっている事がとても素晴らしい、との事でした。

例会では小山司ガバナーに卓話をして頂きました。会員増強、これからのロータリークラブはどうあるべきか、その他様々なお話を頂きました。

そして最後に14時半から苦小牧市 岩倉博文市長を訪問致しました。苦小牧市の人口の微減の件、その他苦小牧市に付いて様々な事を岩倉博文市長に質問しておられました。

ご多忙の中、当クラブをご訪問頂き深く感謝申し上げますと共に、お身体にご留意されます様に会員一同心よりご祈念申し上げます。



栗山ロータリークラブ

11/27

9月11日に予定されていた小山ガバナー公式訪問でしたが、9月5日台風21号、翌6日に平成30年北海道胆振東部地震の発生によりガバナー公式訪問で使用する会場が栗山町の指定避難場所のひとつとなりました。やむなく延期となりましたが、11月27日(火)、小山ガバナー、山本第3G直前ガバナー補佐、泉亭第3Gガバナー補佐幹事をお迎えし、無事開催できる運びとなりました。

午前10時から会長幹事懇談会、11時からクラブ協議会、12時15分から例会へと移りまして、小山ガバナーからは北海道の開拓とロータリー創立の関連性などを聞かせていただき、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。また、黄金に輝くロータリー創立100周年記念の鐘とその音色を披露していただき、会員一同おごそかな気持ちで聞き入り、ロータリーの原点である『相互の助け合い』と『暖かい協力』の精神を改めて強く感じさせていただき公式訪問となりました。心より感謝申し上げます。



江別ロータリークラブ

11/29

11月29日、小山司ガバナー、山本公彦第3グループ直前ガバナー補佐、泉亭俊徳ガバナー補佐幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会が開催されました。9月6日開催の予定が地震により延期となり、待ちに待った開催となりました。

会長・幹事懇談会では和やかな雰囲気のもと、クラブの特色についての話題で盛り上がりました。クラブ協議会では、各委員長が事業の説明を致しました。

例会では、100周年記念の鐘が紹介され、美しい音色が披露されました。小山ガバナーの講話では、ポールハリスの出身地であるニューイングランドの入植時の環境がロータリーの理念に影響を与えたこと、北海道開拓の歴史の中で活躍した2人のアメリカ人(ケプロン、クラーク)がニューイングランド出身者であったことなど、大変興味深いお話を教えていただきました。

地震の影響でスケジュールの調整は大変だったと推察いたします。これからもますますのご活躍を祈念し、感謝の言葉をもって報告いたします。ありがとうございました。



新ロータリークラブ 結成のお知らせ

札幌ライラックロータリークラブが2018年11月21日(水)をもって
国際ロータリーに正式に加盟されました。

特別代表：羽部大仁パストガバナーをはじめ、札幌南ロータリークラブの会員の
功績には深甚敬意と感謝と謝意を表しつつ、第2510地区すべてのロータリアンで
新クラブ結成の喜びを分かち合いたいと思います。

【札幌ライラックロータリークラブについて】

皆様、初めまして。2510地区で70番目に承認された札幌ライラックロータリークラブです。3年前に衛星クラブとして設立され、今回スポンサークラブをはじめ、皆様のおかげで独立をすることができ、感謝申し上げます。小さいクラブですが、若い会員も多いのでこれから活発に活動していきたいと思っています。是非、例会にお立ち寄り下さい。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



名 称：札幌ライラックロータリークラブ
会 長：朴 炫珍 幹 事：川端 さなえ
会員数：21名
例会日：第1・第3金曜日
例会場：エルプラザ ビジターフィー 1,500円
事務所：札幌市中央区南2条西6丁目14 大友ビル4階E
TEL：050-5806-2032 FAX：なし

新会員のご紹介

(敬称略)



留萌RC
大沼 大
11月1日入会
建築資材卸売業



千歳セントラルRC
池淵 勝彦
12月4日入会
損害保険代理店



芦別RC
森川 清美
1月1日入会
ホテル

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

砂川RC	山根 正久 会員 (1回)	11月29日	岩見沢RC	荒木 英雄 会員 (2回)	11月26日
砂川RC	大橋 俊彦 会員 (1回)	11月29日	岩見沢RC	石田 豊明 会員 (4回)	11月26日
砂川RC	佐藤正一郎 会員 (3回)	11月29日	岩見沢RC	山本 公彦 会員 (5回)	11月26日
砂川RC	高橋 俊美 会員 (3回)	11月29日	岩見沢RC	谷 勲 会員 (5回)	11月26日
砂川RC	瓜 俊雄 会員 (4回)	11月29日	岩見沢RC	鎌田 誠 会員 (5回)	11月26日
美唄RC	早河 常機 会員 (2回)	11月29日	岩見沢RC	倉増 秀昭 会員 (8回)	11月26日
岩見沢RC	江本 勝典 会員 (1回)	11月26日	札幌西RC	森谷 明弘 会員(16回)	11月27日
岩見沢RC	芥川 勝行 会員 (1回)	11月26日	函館セントラルRC	伊藤 道雄 会員(14回)	11月29日
岩見沢RC	前野 達志 会員 (1回)	11月26日	函館東RC	佐藤 美子 会員 (2回)	11月30日
岩見沢RC	竹内 友康 会員 (2回)	11月26日			
岩見沢RC	玉田 忠 会員 (2回)	11月26日	米山功労クラブ		
岩見沢RC	中路 幹雄 会員 (2回)	11月26日	岩見沢RC	(35回)	11月26日
岩見沢RC	前川 英雄 会員 (2回)	11月26日	札幌東RC	(57回)	11月12日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深川RC	大西 祥太 会員 (1回)	11月29日	室蘭北RC	菅原 悦子 会員 (1回)	11月30日
深川RC	児島 俊一 会員 (2回)	11月29日	苫小牧RC	橋本 洋一 会員 (5回)	11月 5日
砂川RC	山田 賢司 会員 (1回)	11月30日			
砂川RC	瓜 俊雄 会員 (3回)	11月30日	ポール・ハリス・フェロー		
江別西RC	増山 柳 会員 (3回)	11月 9日	恵庭RC	弘中司嘉子 会員	11月29日
江別西RC	西脇 信治 会員 (4回)	11月 9日	室蘭北RC	工藤 一人 会員	11月30日
札幌北RC	黒川 篤 会員 (2回)	11月30日			

米山奨学生の紹介 YONEYAMA SCHOLARSHIP



北大での留学

孫 千恵
(中国)

北海道大学・札幌RC

私は大学生の時に交換留学生として富山大学で1週間ぐらい勉強しました。それをきっかけに日本の大学での研究や生活を体験し、彼らが一生懸命に脳の謎を解こうとする姿に深く感動し、日本の大学院に憧れるようになりました。それ故に、日本留学を決意しました。

研究者の魅力的なところは、ただ一人のアイデアで世界を変えられることだと思います。留学目的を思い返すと、もう1つの理由があります。それは子供の時、祖母が認知障害になり、家族の皆を覚えられなくなりました。勿論、愛する祖父のことさえもすっかり忘れてしまいました。可哀想な祖父が悲しい顔をしたことは今でも忘れられません。今から思えば、誠に悲しいラブストーリーでした。大学三年生であるア

ルツハイマー病学会に参加した時、心の中で残されていた疑問が漸く解けました。祖母はアルツハイマー病を患っていたのです。そこで、アルツハイマー病のメカニズムを研究し、効果のある薬を開発し、祖母と同じような患者達を治し、同じような悲劇が繰り返されないように自分の力で貢献していきたいです。

創薬を目指す研究に集中するために、アルバイトをせずに奨学金の申請をしました。幸運に恵まれて米山奨学生に選ばれました。学んだ知識を活かせると考え、将来製薬会社で働きたいと思っています。いつか自立して優れた研究員になれば、ロータリークラブに恩返ししたいと思います。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

2018.12.13

Vol. 225

秋の外国人叙勲で米山学友が受章

11月3日、平成30年秋の外国人叙勲が発表され、元啓明大学校副総長・同日本学科名誉教授、元韓国日本協会会長の米山学友、呂博東さん（韓国／1978-80／水戸RC）が、旭日中綬章を受章しました。筑波大学修士課程在学時に米山奨学生となり、研究に勤しんだ呂さんは、博士号を取得して帰国。以降、従来の日本語・日本文学中心の日本研究を超え、歴史・文化、経済、社会など多分野から総体的に日本を捉える日本学を広め、学会を立ち上げて多くの日本研究者を育てたほか、韓日民間親善交流協会を設立するなど、韓国における日本研究の発展と対日理解の促進に多大な貢献を果たしました。

栄えある受章おめでとうございます！

【呂博東さんからの謝辞】

このたびの受章は、身に余る栄誉であり、今まで巡り合うことができた、たくさんの素晴らしい皆様方のご助力と恩恵の賜物と、感謝に耐えられません。修士課程2年間勉強に励むことのできる奨学金を与えてくださったロータリー米山記念奨学会と水戸ロータリークラブの皆様ほか、ここに掲げ挙げることのできないほど多くの皆様様に多大なご恩を被りましたことを忘れることはできません。皆様様にこの栄誉をお返ししたいと思います。



2019年の年賀状を学友がデザイン



当会事務局では、評議員、理事、地区米山記念奨学委員長、学友、他団体などへ毎年約4,600枚の年賀状を送っています。今回は、マレーシア出身の米山学友、ケリン・スーさん（2014-16／新城RC）が年賀状のデザインをしてくださいました。

ケリンさんからのメッセージ：イノシシと門松と花火で構成してみました。門松の隣に、2019年を代表するイノシシが嬉しく新年を迎えています。海外ではお正月を迎える際、花火を打ち上げることも多

いです。米山は日本だけでなく、世界の方々も一緒になっているので、日本のお正月を代表する門松と、世界のお正月を代表する花火と一緒に描き、皆で一緒に2019年を迎えたいという思いを込めて描きました。



寄付金速報 一年内の送金はお早目に

11月までの寄付金は前年同期と比べて0.6%減（普通寄付金：0.9%増、特別寄付金：1.3%減）約430万円の減少となりました。当財団設立50周年で寄付実績の良かった昨年度とほぼ同額にまで回復したのは、匿名の大口寄付があったためです。また米山月間で集めた寄付を送金

されたクラブも多かったです。皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。今年も残すところあと半月余りとなりました。確定申告を予定されている方は**12月28日（金）までに当会口座に着金した特別寄付金**について、翌年1月末までに確定申告用領収証を発行いたします。

■「四方よし」

ロータリーコーディネーター補佐を務めて3年目になります。

1月は職業奉仕月間でロータリーの「五大奉仕」は次のように記されております。

「奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」

職業奉仕月間では、職業奉仕の理想を日常実践するテーマに基づいて、多くのクラブで様々な取り組みが行なわれます。たとえば、会員企業を対象に社員表彰の場を設けたり、優れた活動をしている企業にスポットを当てて職場訪問や研修をおこなうなど、自社の状況把握や今後の新たな取り組みを考える時期だととらえているメンバーも多いのではないのでしょうか。

ご存知のように日本には江戸時代から明治時代にわたって日本各地で活躍していた近江商人が大切にしていた「三方よし」という文化があります。「売り手よし、買い手よし、世間よし」というすばらしい考え方です。そして私の地区仙台では「三方よし」に「働き手よし」を加えた「四方よし」という取り組みがスタートしました。現代社会において、非常に重要な要素を取り入れたものと高く評価していますが、翻って考えてみますと、ロータリーにおける職業奉仕はまさしくこの「四方よし」の理念に基づいて今日まで行っているものと言えます。

例えば会員相互における密接な情報交換や、奉仕活動や卓話などから市場の状況を把握し、企業活動に反映させることによって、地域の皆さんが求めている安全で安心して暮らせるまちづくりに貢献できること、そして一番重要なことは、それぞれの企業で働く皆さん、つまり「働き手」が安定して仕事に取り組める職場づくりではないのでしょうか。

安定した職業を営むことは、原則的に営利を追求することにはほかなりませんが、「職業倫理」に基づくことによって、受益者が「自分だけ」、そして「自分の企業だけ」ではなく、仕事を通して如何に地域へ貢献できるか、それがロータリーの目指す職業奉仕であると思います。

昨今、世の中のスピード感は加速度的に進んでおります。我々ロータリーの取り組みも、時代背景に合わせなければならない場面が出てくるかもしれません。ただし、基本的な理念やこれまで積み重ねてきた歴史についても大切にしながら進まないことにはロータリーの精神が全くの別物になってしまう恐れがあります。会員各自が倫理と理念を追求し、職業奉仕を実践する為には、例会や事業、地区が行う研修や地域が行うセミナー等により多くの方が参加して、会員相互の対話や意見交換を増やす事が重要になってきます。

このようなことをクラブとしてアピールすることが公共イメージのアップにつながり会員増強が図られると思っています。是非、ロータリーの良さを地域の皆様に広めてまいりましょう。

第一ゾーンロータリーコーディネーター補佐菅原裕典(仙台泉RC)

■「自分自身を磨き仕事を磨く」

「公共イメージと認知度の向上」には、方法論と内容論が有ります。

方法論では、マスメディアの活用・ソーシャルメディアの活用・キャンペーンの実施・果ては人伝て迄も有ります。効果を考えるなら、マスメディアの活用が1番ですが、費用対効果や組織広報に多大な費用をかける事は是非等、議論すべき事が沢山あります。

そして、どのような媒体を使用しても伝えるべき内容を吟味すべきです。ロータリーの活動は多岐に亘っているので、伝えるべき点が明確になって居ないと効果がないばかりではなく、かえって混乱を来すと考えます。これが内容論です。

伝えるべき点をクラブで、地区で話し合ってくださいと考えると、表現が短ければ短い程効果的でしょう。私は、ロータリー全体のどこでも活用できる「ロータリーの目的」を短く表現したものが良いと考えています。

画像はロータリーの目標を世間の方々に解り易く伝える為に、2570地区で作ったシートです。参考に供します。しかし、押しつけはしません。

ロータリーの目標の第1項は「貴方も参加しませんか?」で表しています。

ロータリーの目的の第2項は「自分自身と自分の職業を磨きながら」で表しています。

ロータリーの目的の第3項と第4項は「地域や国際社会に奉仕する」で表しました。

扱、「ロータリーって何?」のシートの中に「自分自身を磨く」とあります。「自分自身を磨く」事は自分の職業を磨く事の大前提であると思っています。

自分を磨かずして自分の仕事(まして社員)を磨く事は出来ません。「自分を磨くとは、自分の人格を高める事、徳望を身に着ける。」事で、高学歴とか高収入という事ではありません。具体的な行動の基準は「ロータリーの戦略計画」にある5つの中核的価値観にあるとも思っています。「奉仕」と「親睦」は誰でもわかっている事です。

「高潔性」、「多様性」、「指導力」についてクラブで話し合ってください。

「ロータリーって何?」のシートの中に、「仕事を磨く」と表現しました。

まずは、自分の仕事(会社の事業等)が「地域の役に立つ仕事をする。高潔性を念頭に。」という事であると思っています。事業経営で「売り上げや利益を大きくする事」は大切な事ですが、それだけではないと考えています。地域で「お客様が必要としている」事業を行う事が大切であると常日頃考えています。

その結果、利益も上がり、会社も有名になって来るでしょう。間違っても「有名な会社(上場企業)にする事」が目標ではないと考えています。

第一ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター鈴木秀憲(吹上RC)



ロータリー探訪



ロータリーのメリット

第2510地区職業奉仕委員長

玉井 清治

(函館亀田RC)

またひとり、クラブを去っていきました。大好きだった彼が何故、私達から離れていくのだろう。いろいろ事情もあるでしょうが、一度は笑顔で入会してきた彼が私達と離別したことは、ロータリーに魅力を感じなくなったか、自分にとってメリットが無い。クラブに在籍していることにメリットが無いと感じていることは間違いだと思います。また、「何のためにこの忙しい時に高い会費まで払って週に一度の例会に出なければならぬのか?」と思っていたことも現実でしょう。それではクラブ例会が仮に2週間に一度の頻度だったら彼は退会しなかったと思いますか?忙しいのは皆同じです。

よく、多様性という言葉がロータリーでは出てまいります。職業人で構成されているロータリークラブは、いろいろな職業の方々がおりますので、それぞれ考え方が違うのは当然です。しかし会員すべてに共通して考えが一致していることは、「自分の事業所の永続的な繁栄を願う」ということでしょう。で、あれば会員共通のメリットとは、ここにあるような気がします。

以前、先輩会員から「お前!成長したな」と褒められたことがありました。「入会した頃はハラハラしていたゾ!」とも言われましたが、非常に嬉しく感じましたし、自分を密かに観察し、見守ってくれる人がロータリーの世界以外ではないような気がします。自分の成長をメリットと感じてクラブ例会を通して自己研鑽し、その心を自分の職場に生かして地域社会に貢献する。すると自分の事業所に地域社会は「利益」としてお返ししてくれる。そして自分の会社の「永続的な繁栄」に繋がる。このことをロータリーは私達に職業奉仕理念として教えてくれました。つまり、ロータリーという組織は弱者救済などの人道的支援や地元社会などへの奉仕することと同時にロータリアン個人の成長や事業所の繁栄を目指すものだと私は思っております。よく、新会員に「ロータリーに仕事を求めるな!」と言っている光景を目にしますが、それ以上、クラブの仲間として彼に仕事や人格的指導などのメリットをたくさん与えてあげなければならないのではないのでしょうか。

例会に出るたび、人の振りみて我が振りを直す謙虚な自

己への問い掛けがなければロータリアンの成長は存在せず、育たないと思います。このことから、「例会の意義や価値」は計り知れないほど重要です。クラブ会長に託された「会長の時間」という権限のなかで、ゴルフの話や世間話もよろしいでしょうが、忙しいなか、例会に出席参加している会員に少しでも多い「メリット」を与えるお話しをしていたら退会者も少なくなるような気がします。

人のことを思い人のために尽くすロータリークラブが職業人で構成されている以上、会員個人の事業母体の発展ないしは安定的な維持、利益の向上を図ることは、ロータリー運動を持続し発展するための大前提ははずです。毎日、利益を出すために悪戦苦闘している会員は、時には不正や不道徳や世間に受入れられないような方法で、一攫千金の利益を夢見たりするような(道を誤った場合)こともあるでしょう。「自分の幸せは、自分の周りにいる人々の幸せと、決して無関係ではない。良質の職業人とは、自己改善を重ねて、自分の職場を健全に守ると共に、取引先・下請け業者・従業員・顧客など、自分の事業と関係を持つすべての人に幸せをもたらすことである。そして、その心を持って事業を営めば、必ず最高の利益が得られることを自分の職場で実証することによって、奉仕の精神の必要性を地域全体の職業人に伝えていかなければならない。」という考え方で事業活動を営むことが、奉仕の実践であると職業奉仕理念をロータリーに最初に提唱したアーサー・フェレデリック・シェルドンは説いたのです。自分は業界の代表としてロータリーに入ったというのは間違いで、ロータリークラブがロータリー運動推進の立場から貴方の職種では貴方がロータリアンに相応しい人だと認定をしてロータリーに参加していただいている。貴方はロータリー運動に参加したことを通じてロータリーが貴方の業界に派遣した貴方の業界改善の先生でなければならない。この会員ひとりひとりの実践によって地域・国・地球全体が良い社会になっていくことでしょう。

地区カレンダー(1月・2月)

1月 職業奉仕月間	
1(火)	元旦
2(水)	
3(木)	
4(金)	
5(土)	
6(日)	2019年度 米山奨学生選考試験(札幌)
7(月)	
8(火)	
9(水)	
10(木)	
11(金)	
12(土)	
13(日)	
14(月)	～19日(土)国際協議会(米国・サンディエゴ)
15(火)	
16(水)	
17(木)	
18(金)	
19(土)	第3回ガバナー補佐会議
20(日)	
21(月)	
22(火)	
23(水)	
24(木)	
25(金)	
26(土)	
27(日)	～31日(木)国際奉仕・VTT検証ツアー
28(月)	
29(火)	
30(水)	
31(木)	

2月 平和と紛争予防/紛争解決月間	
1(金)	札幌ライラックRCチャーターナイト
2(土)	第9グループIM(登別)
3(日)	
4(月)	
5(火)	
6(水)	
7(木)	
8(金)	
9(土)	学友会帰国報告会
10(日)	
11(月)	建国記念日
12(火)	
13(水)	
14(木)	
15(金)	
16(土)	2019-2020年度ガバナー補佐研修セミナー(千歳) 2019-2020年度地区チーム研修セミナー(千歳)
17(日)	
18(月)	
19(火)	
20(水)	
21(木)	
22(金)	
23(土)	ロータリー創立記念日
24(日)	第8グループIM(浦河)
25(月)	
26(火)	
27(水)	
28(木)	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2018.11.30	増減	内女性	
1	深 川	3	33	33	0	2	75.27
	羽 幌	3	46	46	0	2	81.16
	妹背牛	4	7	7	0	0	85.71
	留 萌	3	33	34	1	3	69.61
	小 計		119	120	1	7	77.94
2	赤 平	3	27	27	0	2	77.14
	芦 別	3	31	31	0	2	66.30
	砂 川	4	40	40	0	1	98.63
	滝 川	5	93	96	3	4	73.00
	小 計		191	194	3	9	78.77
3	美 唄	4	26	27	1	0	85.40
	江 別	5	32	33	1	1	84.38
	江 別 西	3	30	30	0	4	83.30
	岩 見 沢	5	74	78	4	0	96.29
	岩見沢東	3	17	17	0	2	76.47
	栗 沢	3	19	19	0	1	82.60
	栗 山	3	25	28	3	5	85.18
	当 別	3	27	29	2	0	80.61
	小 計		250	261	11	13	84.28
4	札 幌	3	121	135	14	2	99.22
	札幌はまなす	3	16	18	2	2	78.00
	札 幌 北	3	40	43	3	4	82.48
	札幌モーニング	3	34	34	0	0	72.04
	札 幌 西	3	50	51	1	9	72.15
	札幌西北	4	34	34	0	3	72.20
	札幌手稲	3	37	39	2	4	86.05
	小 計		332	354	22	24	80.31
5	札 幌 東	4	125	125	0	0	97.53
	札幌清田	3	13	13	0	4	100.00
	札幌幌南	4	66	54	-12	3	99.35
	札幌ライラック			21		7	
	札幌真駒内	4	23	25	2	7	100.00
	札 幌 南	3	88	92	4	2	96.85
	札幌大通公園	2	14	14	0	4	67.85
	新 札 幌	3	25	27	2	5	82.34
小 計		354	371	17	32	91.99	
6	岩 内	3	20	20	0	1	80.00
	倶 知 安	3	36	35	-1	3	68.80
	小 樽	3	71	75	4	5	83.86
	小樽南	4	65	65	0	4	75.25
	小樽銭函	4	22	24	2	1	86.00
	蘭 越	4	9	9	0	0	100.00
	余 市	4	43	43	0	6	88.20
	小 計		266	271	5	20	83.16

11月出席率・
会員増減数

クラブ数	70クラブ
期首会員数	2,544人
当月末会員数(女性)	2,642人(176人)
増加会員数	98人
当月平均出席率	79.86%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2018.11.30	増減	内女性	
7	千 歳	4	69	76	7	9	81.14
	千歳セントラル	3	39	41	2	8	69.11
	恵 庭	4	49	53	4	3	75.01
	北 広 島	3	16	16	0	0	82.22
	長 沼	2	17	16	-1	3	82.35
	由 仁	2	7	8	1	1	68.75
	小 計		197	210	13	24	76.43
8	え り も	2	17	20	3	1	100.00
	三 石	4	13	13	0	0	62.50
	様 似	2	17	17	0	1	52.94
	静 内	3	72	72	0	5	82.67
	浦 河	3	26	28	2	3	95.00
	小 計		145	150	5	10	78.62
	9	伊 達	3	64	64	0	1
室 蘭		4	32	33	1	2	68.40
室 蘭 東		3	34	38	4	3	65.80
室 蘭 北		4	46	47	1	2	71.25
登 別		4	25	25	0	1	84.00
洞 爺 湖		2	9	9	0	0	70.00
小 計			210	216	6	9	72.30
10	函 館	4	76	83	7	1	78.09
	函館亀田	3	43	43	0	4	73.24
	森	3	35	35	0	0	65.70
	七 飯	4	12	12	0	0	68.80
	長 万 部	2	10	10	0	0	65.00
	函館セントラル	4	23	23	0	2	77.18
	小 計		199	206	7	7	71.34
11	江 差	2	10	10	0	1	65.00
	函館五稜郭	3	54	56	2	0	82.63
	函 館 東	4	45	45	0	8	70.45
	函 館 北	3	16	19	3	0	84.21
	北 斗	5	12	12	0	0	58.30
小 計		137	142	5	9	72.12	
12	白 老	3	30	30	0	3	81.60
	苫小牧	4	59	62	3	3	82.81
	苫小牧東	4	27	27	0	4	91.91
	苫小牧北	4	28	28	0	2	90.42
	小 計		144	147	3	12	86.69
合 計		2,544	2,642	98	176	79.86	

文庫通信 (374号)



ロータリー文庫は日本のロータリー50周年記念事業の一つとして、1971年11月に公開された皆様の資料室です。日本のロータリーは2020年に100周年を迎えます。

今世紀に入り、国際ロータリーは大きく変質しました。2001年から2016年の規定審議会での制定案が採択されることにより、組織規定上のロータリーのあり様が変わりました。同時に目には見えないロータリーの本質的な基本的価値の多様化が進みました。現在から未来へ続くロータリーを考えるには過去を正しく理解しなくてはなりません。その意味で、今回はロータリーの古典文献の著名な翻訳書をいくつかご紹介いたしました。

古典文献の翻訳書より

◎「ロータリーの理想と友愛 (THIS ROTARIAN AGE)」

ポール P.ハリス 著：米山 梅吉 訳 [2007] 295P ※

◎「我が自叙伝 (THE HERBERT J. TAYLOR STORY)」

ハーバート J.テラー 著：菅野多 利雄 訳 [1990] 219P ※

◎「ロータリー・モザイク (ROTARY MOSAIC)」

ハロルド T.トーマス 著：松本 兼二郎 訳 [2006] 327P ※

◎「ロータリー通解 (A TALKING KNOWLEDGE OF ROTARY)」

ガイ・ガンディカー 著：小堀 憲助 訳 [1989] 69P ※

◎「ロータリー解析 (THE MEANING OF ROTARY)」

ヴィヴィアン・カーター 著：田中 毅 訳 [1999] 99P ※

◎「シェルドン…忘れ得ぬその名 (SHELDON…A NAME TO REMEMBER)」

ジョン O.ナットソン 著：神崎 正陳 訳 [1998] 12P ※

上記 ※印はデジタル化されている資料です。

[上記申込先：ロータリー文庫]

*資料の検索は文庫ホームページから <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



表紙写真

札幌市北区 北海道大学の冬の銀杏並木

撮影者：野口観光ホテルプロフェッショナル学院・
北海道文教大学外国語学部国際言語学科
講師 今野 哲郎

